

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名

企画政策課

会議名 令和2年度 第1回 諏訪市行政改革推進委員会

開催日時 令和2年12月4日（金） 午前10時～11時50分

出席者 佐久会長、小池職務代理、岩波委員、飯島委員、伊藤委員、岩波委員、大島委員、清澤委員
中嶋委員、西田委員、宮下委員、山崎委員、山村委員 以上12名
金子市長、木島企画部長、寺島企画政策課長、武居スマート化推進係長、平林スマート化推進係主査、今井スマート化推進係主任
(欠席委員) 前田委員、矢島委員

資料

- ・資料 No. 1 行政改革推進委員会
- ・資料 No. 2 第六次行政改革大綱の進捗状況
- ・資料 No. 3 令和2年度 外部評価結果
- ・資料 No. 4 公共施設等総合管理計画の進捗状況
- ・資料 No. 5 業務スマート化プロジェクト
- ・資料 No. 6 諏訪市外部評価委員会設置要綱・過去3年の評価事業

協議議題（内容）及び会議結果（要旨）

1. 開 会（進行：企画政策課長）

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ（金子市長）

- ・今年初回の行政改革推進委員会ということで、開催となりました。ただ今委嘱状を交付させていただきましたが、大変お忙しい中、委員の皆様には大役を引き受けていただいたこと、感謝申し上げます。
- ・諏訪市の行政も、コロナにより社会全体が影響を受けています。そんな中ですが、皆様のご協力のおかげで、最小限の感染者に収まっていますので、本当に感謝申し上げます。
- ・コロナによって半強制的に WEB やネットなどの推進を余儀なくされました。諏訪市においても、行政改革大綱の中での、業務スマート化プロジェクトを昨年からはスタートして、組織編成の後、スマート化推進係として取組を進めています。
- ・皆様におかれましては、外部評価や公共施設等総合管理計画の進捗状況やスマート化の話をお聞きしますが、それぞれの立場からご指導ご助言賜ればと思います。
- ・今後2年間お世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。

4. 会長・職務代理あいさつ

（佐久会長）

- ・それぞれの立場がありますが、諏訪市が今後どのように絶え間なく未来を勝ち取っていけるかということとは考えるだろうと思います。コロナ禍の中で、法人税など厳しい状況になっていくということで、様々な課題を持っています。しかし、市長が女性ということもあるとは思いますが、委員も半分を超える女性が委員として出席なさっています。大変忙しくなると思いますが、実のある議論になるのではと期待しているところです。会長を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

(小池職務代理)

- ・あくまでも代理ですので、佐久会長には人一倍健康に留意していただき、何事もなく無事に過ごせるようにしていただければと思います。女性としては日々のことが気になってしまいます。行政としては5年後10年後、どうやって諏訪市を継続させていくかということにも視点を置かなければならないということを考えながら、私も一生懸命学んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

5. 議 事 (議長：佐久会長)

・報告事項

(1) 行政改革推進委員について (資料No. 1)

(武居スマート化推進係長説明)

—質問・意見等なく、一同了承を得る—

(2) 第六次行政改革大綱の進捗状況について (資料No. 2)

(武居スマート化推進係長説明)

<質問・意見等>

(会長) 収入面としてクラウドファンディングはどんなことをしていますか。

(事務局) 霧ヶ峰のスキー場に廃屋があったかと思いますが、壊すときにクラウドファンディングで募集をかけて、財源を一部当てました。これからもいろいろな事業がありますので、これから積極的に使いたいということで、ガイドラインを定めています。クラウドファンディングも担当課にとってはノウハウがないところですので、そういうところを整備しながら財源を確保していきたいと思っております。

—以上質問・意見等なく、一同了承を得る—

(3) 令和2年度 外部評価結果について (資料No. 3)

(今井スマート化推進係主任説明)

—質問・意見等なく、一同了承を得る—

(4) 諏訪市公共施設等総合管理計画の進捗状況について (資料No. 4)

(今井スマート化推進係主任説明)

<質問・意見等>

(会長) 個別的に削っていくということは、計画に沿っているのでしょうか。

(事務局) そのとおりです。

(会長) 現時点で5.5%削減というのはどうなのでしょう。評価とすれば。

(事務局) 計画どおりではあると思います。10年間で10%を目標にやっております、今年4年目となりますので、おおむね半分以上ということにはなります。財政的な面や社会情勢で変わることもありますが、適正にやっていく必要があると思います。

(委員) 今の報告と違うのですが、第五次行政改革大綱は何年からか。

(事務局) 平成 29 年度からです。

(委員) 次は令和 3 年につくるとのことですか。

(企画部長) 令和 3 年に作り、令和 4 年度からとなります。

(委員) 地方創生ビジョンはどうなっているのですか。

(企画政策課長) 地方創生ビジョンも 2 年間延長しまして、同じように、令和 4 年からスタートできるように計画しております。

(委員) 先程、クラウドファンディングもありましたが、ふるさと納税は稼いでいる(収入としてみている)という感覚はないのでしょうか。

(企画部長) ふるさと納税につきましては、平成 28 年度に最高 5 億円ほどの納税をいただいた。平成 29 年度からは総務省の指導が入り、全国的に過度な返戻品を送るのはどうなのかという指導が入りました。今は年間 8000 万くらいになっていまして、諏訪市の収入と思っております。諏訪市の人々が他の市町村へのふるさと納税もありますので、差が数千万となり、金額としてはわずかであります。

—以上質問・意見等なく、一同了承を得る—

(5) 業務スマート化プロジェクトについて

(平林スマート化推進主査説明)

<質問・意見等>

(会長) ぜひとも高齢者に優しい社会をつくっていただきたいと思っております。

(委員) 行政のスマート化は良いと思っております。市民の、特に高齢者がパソコンなど最新のものの活用の仕方や、ペーパーレスなど、市民と行政をつなぐ環境整備はどの程度行われているのでしょうか。市長提案にもあったが、申請者等への押印廃止を言われていたましたが、どのようにお考えなのか。お考えをお聞きしたいと思います。

(事務局) 11 月下旬に各係とのミーティングでもそういった問題がでてきました。デジタルを使えない人も使える人でも、紙も電子でも、両方でいくべきではという話でした。押印については総務課でまとめておりまして、法令上で問題ないか見ているところです。最終的には形だけでのはんこをなくしていくべきではと思っています。塩尻市の事例で保育園の休みなどの連絡を電子申請サービスでやっています。それを園長会などでも提案してみました。市民にもできるもの、ハードルが高いものは分けて、認識しつつやっていくよう、職員へ周知していきます。

(委員) 小中学校では休みの連絡も(保育園)同様にできないでしょうか。

(事務局) 学校のほうにも情報提供はしています。その後の検討具合は聞いてみたいと思っております。

(委員) それは市が提案するのか、学校から提案するものなのでしょうか。

(事務局) まずは知らないと思うので、市のほうからこんなものがあるというのを投げた上で、やりたいというところからやるなどあるとは思いますが。

(委員) 例えば、不登校の生徒をもつ家庭としては、何度も連絡するのに躊躇してしまうので、コミュニケーションが取りづらいというところもあります。そういうものがあればありがたいと思います。そういった面でも提案をしていただければ。

—以上、質問・意見等なく、一同了承を得る—

・協議事項

(1) 令和2年度 外部評価委員の選任について (資料No. 5)

(今井スマート化推進係主任説明)

<質問・意見等>

(会長) 立候補ということもあるようですが、基本的には腹案もありますが、時間をとってみたいと思います。

(山村委員) やります。

(会長) 一人立候補があるようですが、腹案あれば事務局からお願いします。

(事務局) 今、山村委員から立候補いただきました。ありがとうございました。

幅広い分野からそれぞれ出ただけであればということ、学識経験者・各種団体を代表する人ということで、腹案を申し上げさせていただきたいと思います。

岩波委員、金子委員、小池委員、五味委員、前田委員、宮下委員、矢島穆委員、山村委員の以上8名の皆様に外部評価委員会をお願いしていきたいと思いますのでよろしくお願いします。(異議なし)

(委員) 参考に聞きたいことがありまして、資料の1の後ろのほうに、職員について載っていましたが。民間としては定年が70歳までにしないといけません。いま私のところでは65歳が定年となっています。今度の法改正によって、残りたいと希望した人は残さないといけないと。今、定年について諏訪市はどうなっていますか。

(事務局) 基本的に定年は60歳となっております、年度は不詳ですが再雇用をするようにと言われております。希望者には階級は変わりますが、再雇用する制度があります。今現在は希望が少ないです。いつか65歳になるとは思いますので、段階的にやっていきます。

(会長) 70歳となっているが、企業の実情を含めてということであつたと思うが。

(委員) 来年の4月から100%やらなければならないとなっています。役所の人と関係を作っても、定年で退職されると、せっかくという気持ちがあるので延長をお願いしたいと思います。

(委員) 何年か前に男女共同参画の会議のときの資料で、女性職員についてのアンケートを行ったようです。管理職になりたくないという方の意見がとても多かった。50歳くらいになると辞めてしまうという人が非常に多いと聞きます。女性職員が、なぜ上を目指さないのかなど。業務的に難しいのか、周りを

はばかって辞めるのか。今、女性の管理職がどういう形になっているのかお聞かせいただければと思います。

(事務局) 感覚的な話になりますが、一昔前になると、女性が55歳くらいで辞める人が確かに多かったと思います。現在、女性職員が増えておりまして、新規採用でも女性が多い傾向にあります。それで、年齢を重ねてきていますので、女性の役職を持つ人が多くはなっています。地方分権などもあり、行政も知恵を絞らないといけないところですので、昔よりも(業務が)難しくなっているとは思いますが。総務のほうでも、管理職に女性登用を進めたいとしています。

(委員) 組合の女性部のほうでもそういった話を聞きます。係長職に上がる際に、男女とも、実際になったときにどんな仕事をするのか不安を感じる人も多くいます。係長などどういったことをしているかという研修をお願いする予定です。女性だから、男性だからという状態をなくしていきたいと個人的にも思っています。

(委員) 女性が活躍できる市役所であってほしいし、女性自身にも上を目指してほしいなと思います。

(委員) 諏訪の人口が減っているということで、都会はリモートワークとなっています。八ヶ岳のほうでは移住者が増えているということですが、諏訪市では移住に対してどんな活動をしていますか。

(企画部長) 諏訪市の移住は、今までは外に出ていく人が多かったですが、コロナにより7~9月あたりは逆転してきています。諏訪市では、6市町村と県で相談を受ける事務局を1つにして、すわっチャオに置いています。諏訪市の取組としては、空き家を提供してもらい、改修して住んでもらう活動をし始めました。なかなか好評でありまして、移住のサイトに投稿をしてもらって、情報発信をしてくれています。新婚住まい補助金もあり、最大40万を補助しています。去年も20組ほどが活用していました。積極的に進めていきたいと思っています。

(委員) 富士見町での移住相談会に参加しました。会社は東京でも、地方でリモートをして仕事をしている。箕輪のほうでは、母子家庭でも、就労と子育てセットで移住相談を進めているようです。諏訪は環境を整えてくれていると思いますが、子育て相談などの支援も厚くしてほしいです。

(委員) 原村や富士見に別荘(移住用住宅)が増えている。職を探してくれれば移住するという場合もあり、移住の人を採用して、家を建てた例もあります。移住に関しては、地域に来てほしいという考え方でないといけないです。諏訪市で働いて、茅野市に住むなど。土地の価格が違うなどもあります。

(委員) 空き家対策もやってもらっているが、住むには難しい家もあります。

—以上、質問・意見等なく、一同了承を得る—

(3) その他

—質問・意見等なし—

6. 閉 会 (企画部長)